

# ぎふ障スポーツだより

令和3年12月

2021.  
12.

第48号



編集・発行 一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1岐阜県福祉会館5階  
TEL. 058-201-1568 FAX. 058-273-9308 mail soumu@gpsa.jp  
<http://www.human-i-land.com/gisinsyou/sports/>



11月27日 レク★パラひろばにて

## 会長あいさつ

～パラアスリートの活躍～

東京2020パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、感染防止対策を徹底した上で開催となりました。コロナ禍の中での開催には、何かとご苦労があったことと存じますが、パラリンピック関係者の皆さまには、パラスポーツの関係者の一人として、敬意と感謝を申し上げます。

この東京2020パラリンピックのほとんどの競技は、テレビやライブ配信での観戦となりましたが、どの競技も選手の大活躍で、たくさんの感動と勇気、そして元気をいただきました。本県ゆかりの9選手は7競技に出場して、銀メダル1個・銅メダル1個・4つの種目で入賞と好成績に輝きました。出場された選手の皆さんには、まず十分な休養をとってから次の目標に向かって、新たな気持ちで挑戦し続けていただきたいと思います。

東京2020オリンピック・パラリンピック後に、開催が予定されておりました全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」は、昨年の鹿児島大会に続いて中止となってしまいました。三重大会に出場予定の43名の皆さんには、大会に向けて練習に励んでおられました。残念なこととなりましたが、気持ちも新たにして令和4年度開催予定の「いちご一會とちぎ大会」への出場を目指してください。

以前にもふれましたが、本県には“県民1スポーツ運動”を掲げた「清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定され、計画に沿ってスポーツの振興が図られてきました。この計画も、令和4年度からは新たな目標を策定します。当協会も、新計画に沿って“パラスポーツの推進”に、積極的に取り組んでまいりますので、今後とも、関係各位のご支援ご指導をお願い申し上げます。



一般社団法人  
岐阜県障害者スポーツ協会  
会長 岡 本 敏 美

# 東京2020パラリンピック

## 岐阜県ゆかりの選手 競技結果

8月24日から9月5日まで開催された東京パラリンピック。岐阜県ゆかりの選手9名は各競技で活躍しました。  
銀メダル1名・銅メダル1名を含む入賞した選手は6名で、岐阜県勢が躍進しました。

選 手 名	競 技	種 目	結 果
石田 駆	陸上	T47・100m T47・400m	5位入賞(日本新) 予選敗退
高木 裕太	カヌー	KL1・200m	12位
加治 良美	カヌー	KL3・200m	9位
藤原 由衣	柔道	女子52kg級	5位入賞
工藤 俊介	テコンドー	K44・-75kg	7位入賞
田中 ゆかり	シッティングバレー	女子	8位入賞
秋田 啓	車いすバスケットボール	男子	準優勝・銀メダル
荒井 大輔	車いすテニス	男子シングルス 男子ダブルス	17位 9位
諸石 光照	車いすテニス	クアード・シングルス クアード・ダブルス	9位 3位・銅メダル

大会終了後、入賞した選手は古田肇岐阜県知事を表敬訪問し、面談を行いました。

また、面談に先立ち、入賞した以下6選手には「清流の国ぎふ栄誉賞」が授与されました。



藤原選手・諸石選手・石田選手



秋田選手



工藤選手



田中選手

# メダル獲得報告会・祝勝セレモニー



銅メダルを獲得された諸石選手、銀メダルを獲得された秋田選手の各活動拠点で、メダル報告会・祝勝セレモニーが開催されました。

## <諸石 光照 選手>

練習拠点である岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザにて、施設の指定管理者である岐阜県スポーツ協会が主催し、祝勝セレモニーが開催されました。ともに練習をしてきた仲間や同日利用していた利用者などから祝福されていました。



## <秋田 啓 選手>

活動拠点である岐阜県福祉友愛アリーナにて、当協会の主催でメダル獲得報告会を開催しました。

所属チーム「岐阜シャイン」のメンバーなどにメダル獲得の報告と今後の抱負について語っていただきました。



当協会にも、高木選手、加治選手、荒井選手にお越しいただき、岡本会長・岩井常務理事と面談しました。パラリンピックでの競技の様子や今後の抱負について語っていただきました。



高木選手



加治選手



荒井選手

## 東京2020パラリンピックを通じた活動・取り組み

成功裏に終了した東京2020パラリンピックは、多くの人に感動と勇気を与え、出場した選手のみならず、様々な場面で、様々な取り組みがありました。

パラリンピックの価値、東京2020大会が掲げたビジョンを胸に、県内関係者の様々な取組を紹介します。

### 日本選手団 水泳コーチ 高橋 良彰

私は水泳競技のコーチとして日本選手団に帯同しました。コーチと聞くと、トレーニングの内容を考えたり泳ぎの指導をしたりすることが主な役割だと思われるかもしれません。もちろんそれも大切ですが、同じくらい大切なのがメンタル面のサポートです。今回は私が東京パラでどのように選手のサポートを行なったのか、エピソードをもとに紹介させていただきます。

知的障がいのある男子選手の一人は「金メダルを期待しています!」という言葉に悩み苦しんでいました。東京パラよりも前の彼は、楽しく泳ぐことだけを考えてレースに臨んでいました。周りを意識せずに自分の泳ぎに集中するためのおまじないが「楽しく泳ぐ」だったわけです。しかし、想像以上の期待や声援によって、彼は楽しく泳げなくなっていました。「僕は絶対に金メダルを獲らなくちゃいけない」「みんなの期待に応えなくちゃいけない」と、どんどん自分を追い込んでしまったんですね。楽しかったはずの水泳が「やらなければならない」という義務に変わってしまった。それが彼には辛かったようです。選手村のベンチに座っている時に、「泳ぐのが怖い…もう泳ぎたくない」と、死んだ魚のような虚ろな目で私に打ち明けてくれました。正直、「今さらそんなこと言われても…」と思いましたが…。

とりあえずこのままではマズイと思い、選手村で滞在した2週間、彼を部屋から連れ出しては海沿いを散歩したり食堂でみたらし団子を食べたりしながら、ひたすら話を聞き続けました。そして「メダルも記録も気にしなくていい」「周りのことは気にせずに全力を出し切って楽しもう」そう繰り返し伝え続けました。

そして迎えた最終レース。惜しくもメダルには届きませんでしたが、シーズンベストを更新。レース後のインタビューでは、「自分の中で悔いなく泳げたことが一番です!」と、目を輝かせながら自信をもって答えていたのが印象的でした。

パラリンピックは金メダルだけがすべてではない。葛藤を乗り越えた選手が一回りも二回りも成長する姿を目の当たりにし、これがまさにスポーツの醍醐味であり、素晴らしいと実感した大会でした。



### 運営スタッフ 岐阜県カヌー協会パラカヌー部 代表 安保 泰男



私は、東京2020パラリンピックでは競技役員として、競技前の検査業務(舟の重さ、装備、ゼッケンの着用確認など)に携わりました。

最初に感じたことは、メディアやボランティアの数が断然多く、様々な規制や制限も厳重で、これまでに見てきたパラカヌーの世界大会とは全く違う世界で、驚きの連続でした。

また、運営側にいたことから、緊張で堅くなっている日本選手が目の前にいても、気軽に声を掛けることもできず、手を振るのが精一杯。一方、他国の選手は皆、レースを楽しんでいる様子で、そんなところでも世界との差を感じました。

私自身、約10年前、あるきっかけから30年ぶりにカヌーの競技者として再チャレンジしたものの歯が立たず、ならば指導者として、協会の運営、選手の発掘、育成・強化に力を注ごうと取り組んできた結果、今回、岐阜県から2名のパラリンピアンを輩出することができました。

カヌーはマイナーな競技で、ましてパラカヌーは競技人口も少なく、大会も少ないですが、障がい者も健常者も水上では同じ。多くの経験を積ませたいと、健常者の大会に参加させてもらったり、岐阜県カヌー協会の中にパラカヌー部を設置して、パラアスリートも、オリンピックを目指すトップアスリートも一緒に練習に励み、日常練習では高校の部活動にも参加させていただくなど、障がいのあるなしに関わらず、ともに切磋琢磨できる環境づくりにも力を入れてきました。

このことは、競技力の向上やパラリンピアンの輩出に繋がっただけでなく、東京五輪・パラリンピックの理念のひとつである「多様性と調和」を具現した形になったのではないかと思っています。

今回のパラリンピックを終えて、パラカヌーという競技を見聞きする機会が増え、多くの方がパラスポーツに触れていただけることは、大変意義深いことを感じています。この大会は、パラアスリート、スポーツの世界だけではなく、様々な場面で多様性を認め合い、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートに立てることを気づかせてくれました。

これまで、行政や様々な団体にご支援いただいたことに感謝し、今後も「カヌー」という競技を通じて繋いできた交流と協力関係を大切に、世界で輝けるパラアスリートの育成に取り組んできたいと思います。

### 岐阜市ホストタウン事業(ホストタウン相手国応援校 岐阜市立岐阜特別支援学校)

岐阜市は、スロバキア共和国、カナダ、コートジボワール共和国の3カ国を相手国としてホストタウンに登録されています。



東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために、応援フラッグや記念品の制作等を行いました。また、カナダパラリンピック選手が来校し、交流を深めました。選手の来校をきっかけに高等部の体育でポッチャを取り入れて活動しています。



### 障がい者施設の取り組み(社会福祉法人可茂会 障害者支援施設可茂学園)

東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために、あやめグループで応援グッズを作成!みんなでテレビに釘付けになり、応援しました。

コロナ禍でなかなか自由に活動が出来ない中、活動が出来たのでよかったです。



### パラリンピアンとの交流(社会福祉法人各務原市社会福祉事業団 各務原市福祉の里ぽぶら)



東京2020パラリンピックで銅メダルを獲得された諸石選手から突然の訪問がありました。みんなで応援していた選手を目の前にして、銅メダルも触らせてもらったので、その輝きと重さにみんな感動しました。諸石選手、感動をありがとう!これからも応援しています。



## 障がい者スポーツ教室を開催しています。

当協会では、スポーツに親しむ機会の少ない障がい者や、障がい者スポーツに取り組もうとする団体に対し、地域の活動拠点で障がい者スポーツを実施してもらうきっかけづくりや、障がい者の社会参加の意欲向上につながることを目的として障がい者スポーツ教室を開催しています。

「興味はあるけど、道具が揃わない。競技のルールが分からない」という団体でも気軽にご参加していただけるように、競技用具は当協会で準備し、指導者も当協会から派遣して実施しています。

障がい者福祉施設、障がい者団体、小中学校、社会福祉協議会等からたくさんのお問い合わせをいただき、日中活動の一部に組みこんだり、授業の一環として開催したりなどご好評をいただいているいます。

随时受け付けておりますので、興味がありましたら、ぜひ当協会までお問い合わせください。



お申し込みに関しては、下記の点にご注意ください。

- 開催時間：概ね2時間程度
- 開催場所：原則申込者において確保
- 開催期間：原則5月～2月末まで
- 原則として各団体年1回の実施
- その他、新型コロナウイルス感染症の感染状況や国・自治体等からの要請に基づき、派遣を中止する場合がありますのでご了承ください。

※1ヶ月程度前にはお申し込みいただきますようお願いいたします。

※詳しくは当協会のHPにある開催要項をご覧いただくか、当協会までお問い合わせください。

## レク★パラひろばが開催されました!

11月27日(土)に、岐阜メモリアルセンターで愛ドームにて、レクリエーションとパラスポーツが体験できる「レク★パラひろば」が開催されました!

パラスポーツ体験では、車いすバスケットボール男子日本代表の秋田選手や車いすテニス日本代表の諸石選手も会場におみえになり、大盛況でした。

それぞれの競技毎に体験ブースを設けたところ、多くの皆さんが何度も体験に来てくれて、どんどん上達していました。テレビで見たパラリンピック競技を体験したことで、パラスポーツの難しさと面白さを体感してもらえたと思います。



## 障がい者スポーツ団体の紹介

### 岐阜車いすテニスクラブ

岐阜車いすテニスクラブは、岐阜メモリアルセンター(岐阜県岐阜市)や、江南緑地(愛知県江南市)を中心に、毎週土曜日に練習を行っています。

体力作りや、Enjoyテニス、トーナメントに出場して頑張ってる人まで、バラエティに富んだ人達で、構成されています。

東海三県下では、健常者と組んでダブルスをするニューミックスダブルス大会が、たくさん開催されています。

始めたばかりの方でも、ゲームに出て、楽しむことができます。また、クラブでは、若手の育成、ジュニアの育成にも、力を入れています。興味のある方は、是非、一度、体験に来てください。



問合せ先:(一社)岐阜県障害者スポーツ協会

## 新型コロナウイルス感染症による各種大会中止について

### ○第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」の中止

10月23日(土)～10月25日(月)に開催予定であった「三重とこわか大会」は、新型コロナウイルスの影響により大会を中止することが、三重とこわか大会実行委員会より発表されました。また、6年後に延期することも検討されておりましたが、延期しないことが決定されました。

第19回大会から3大会連続の中止となっていましたが、来年の栃木県「いちご一會とちぎ大会」で選手の皆さんのが活躍されることを願うとともに、熱いご声援をお願いいたします。

### ○各種大会の中止

秋期に予定をしておりました下記大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。昨年に続き中止としましたが、来年以降も応募をお待ちしております。

- 第19回岐阜県障害者スポーツ大会秋大会 ..... 10月10日(日)
- 第26回長良川ふれあいマラソン大会 ..... 10月31日(日)
- 第29回岐阜県サイコリンピック大会 ..... 11月11日(木)
- 第19回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会 ..... 11月21日(日)

### ●初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の受講者を募集しています!

当協会では障がい者を支える指導者の育成のため、初級障がい者スポーツ指導員の養成講習会を開催しています。今年度は下記日程にて、開催しますので興味がありましたら、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

日 時: 令和4年2月19日(土)・20日(日)・23日(水祝)  
 場 所: 岐阜県水産会館、他  
 締 切: 令和4年1月14日(金)

### ●会員の募集について

障がい者スポーツを推進していくうえでは、無くてはならない制度です。皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

なお、正会員とは、スポーツに取り組もうとする障がいのある方をいい、障がい者スポーツを支えていただける方を賛助会員としています。

区分		年会費
正会員	個人会員	1口 1,000円
	団体会員	1口 5,000円
賛助会員	個人会員	1口 1,000円
	団体会員	1口 10,000円

### ●お知らせ

当協会が入居する岐阜県福祉・農業会館の代表電話番号は、3月末をもって廃止されました。

(一社)岐阜県障害者スポーツ協会・直通番号

**☎ 058-201-1568**

(※旧番号058-273-1111には繋がりません)

### 編集後記

視覚障がい者パラリンピック女子マラソンをテレビで観ていたところ、金メダルに輝いたのは、道下美里さん44歳でした。5位に藤井さん57歳、8位に西島さん66歳でした。中継アナウンスの方が、「パラリンピックは年齢を関係なく頑張ろう」という姿勢にいつも自分が励まされますね」と実況していました。障がいの子どもを持つ親としてこのように言ってもらうことに喜びを感じるとともに、いろいろな人が喜びを感じるスポーツだなと感じました。(服部)